第 010 講 ディスコースマーカー⑤ まとめと関係の確認

学習目標

まとめの表現を見つけたら、**どの先行情報を受け、何を一つにまとめたか**を本文から確かめられるようになる。さらに、局所的なまとめと文章全体の中心の範囲を区別し、標識がない文や別の標識も意味のつながりで読めるようになる。

解説

読み方の手順

1. まとめらしい表現の後にある文を読み、まず「何がひとまとまりになったのか」を仮に考える。
2. その前に戻り、複数の具体的な情報がまとめ文の内容と対応しているかを比べる。共通する効果や役割が本文に書かれていれば、そこまでをまとめの範囲とする。
3. 別の段落にも目を向け、局所まとめが扱わない内容を確かめてから、本文で明示された全体の中心と照合する。

「しかし」「さらに」に相当する標識も、前後が実際に対比や追加になっているかで働きを決める。標識がなくても、文どうしの意味を照合すれば関係を確かめられる。

注意

まとめ表現があるだけで、文章全体の最終結論と決めない。語の種類ではなく、**何を受け、どこまでを扱う文か**で判断する。

©ミライコーチング

英文

At North Hill School, a group of students makes a short radio program for the school community every Friday. The students want listeners to understand the news and stories without asking questions during the program. First, they choose a few topics and put them in an order that is easy to follow. They write short notes about each topic so that speakers can remember the main facts without reading long pages. Before the program, the speakers practice difficult names aloud and check their voices with a simple recorder. They plan a short pause between topics to show listeners that a new story is beginning. In short, this preparation helps listeners follow the program and understand each story more easily.

The students also use ideas from their classmates to improve the radio program after each show. After each program, they read messages from classmates about parts that were easy or hard to understand. Some classmates ask the speakers to give longer explanations of unfamiliar words and difficult stories. One student asks for the meaning of an unfamiliar word in a report about the school. However, other classmates prefer short reports because they often listen during a quick break. The students give extra explanations for difficult stories but keep simple reports short for busy listeners. A school radio program becomes clearer and more useful through both careful preparation and attention to listeners.

語注：recorder＝録音機／unfamiliar＝なじみのない／report＝番組内の報告

©ミライコーチング

問題

問 1

第 1 段落で、直前の複数の準備を一つにまとめている文を特定し、その文の**冒頭から英語 4 語**をそのまま抜き出せ。

問 2

問 1 で特定した文は、それ以前のどのような準備をまとめているか。**複数の具体的な準備**がわかるよう、日本語の一文で答えよ。

問 3

問 1 で特定したまとめ文は、それらの準備によって**聞き手にどのような効果がある**と述べているか。日本語の一文で答えよ。

問 4

第 2 段落の「Some classmates ask the speakers …」で始まる文と、直後の「One student asks for the meaning …」で始まる文は、どのようにつながっているか。標識の有無だけに頼らず、日本語の一文で答えよ。

問 5

第 2 段落の **However** が示す前後の内容の違いを比べ、日本語の一文で答えよ。

問 6

第 1 段落の **In short** によるまとめと、最終文で明示された本文全体の中心は、**扱う内容の範囲**がどう違うか。両者を比べて日本語の一文で答えよ。

©ミライコーチング

解答・解説

問 1

模範解答

In short, this preparation

該当文は第 1 段落末尾の「In short, this preparation helps …」である。直前には話題の順序、メモ、発音と声の確認、話題間に短い間を置く計画が並び、それらを **this preparation** で受けて共通する効果を述べている。単に **In short** という標識があるから選ぶのではなく、前の複数情報との対応で確かめる。

抜き出しは **In（1 語目）／short,（2 語目）／this（3 語目）／preparation（4 語目）**。コンマを含めて原文の冒頭 4 語を写し、後ろの **helps** は入れない。

問 2

模範解答

話題を選んで聞き手が追いやすい順序に並べ、話題ごとの短いメモを作り、難しい名前の発音と声を確認し、話題の間に短い間を置く計画を立てるという準備。

まとめ文の **this preparation** が受けるのは、第 1 段落で具体的に述べられた次の四つの作業である。

先行する準備	本文の手がかり
話題を選び、わかりやすい順序に並べる	choose a few topics / put them in an order
話題ごとの短いメモを書く	write short notes about each topic
名前を練習し、録音機で声を確かめる	practice difficult names / check their voices
話題の間に短い間を置く計画を立てる	plan a short pause between topics

この四つすべてがまとめ文の受ける先行情報であり、いずれか一つだけでは範囲が足りない。第 1 段落冒頭の放送の紹介や「聞き手に理解してほしい」という目的は、ここで列挙された準備そのものとは区別する。答えは四つの先行情報を一文で整理し、まとめ文の効果や本文全体の中心を答え直さない。

©ミライコーチング

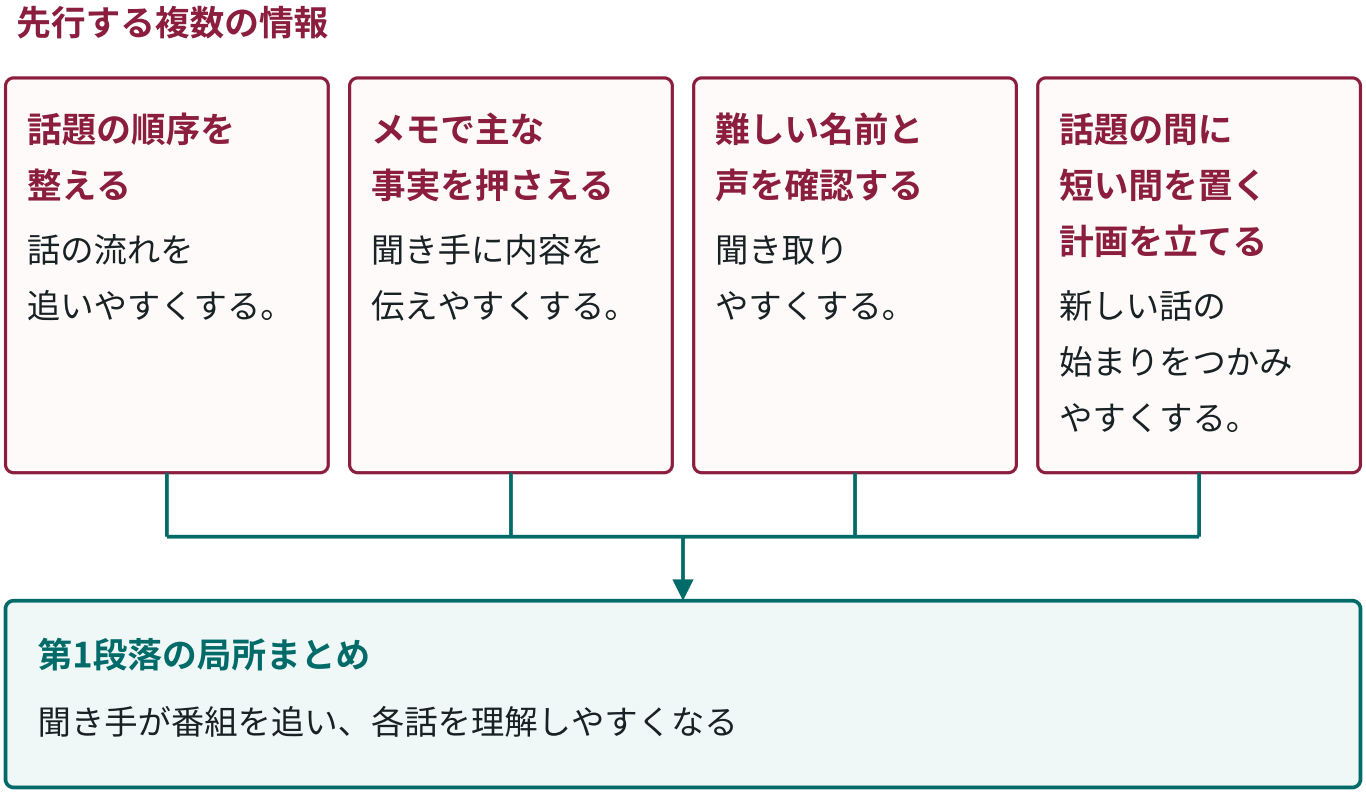
問 3

模範解答

こうした準備によって、聞き手が放送の流れを追い、それぞれの話をより理解しやすくなるということ。

まとめ文では **this preparation** が前の四つの準備を受け、**helps listeners follow the program and understand each story more easily** が、その準備による聞き手側の効果を述べている。効果は **follow the program**（番組の流れを追う）と **understand each story more easily**（各話をより理解しやすくなる）の二つ。ここで尋ねているのは Q2 の準備の列挙ではなく、まとめ文が明示する効果である。

先行情報 → 局所まとめ の対応は次の向きで読む。



四つの準備 → 聞き手が番組を追い、各話を理解しやすくなる。この方向をまとめ文が示している。第 2 段落の聞き手の意見を取り入れる活動は、この局所まとめには含まれない。

ミライポイント！

まとめの設問では、「前の情報を列挙する答え」と「まとめ文が述べる共通の内容」を分ける。複数の情報が一つの効果に束ねられているなら、その効果はまとめ文の言葉に合わせて答える。

問 4

模範解答

一部の級友がなじみのない単語や難しい話をより長く説明してほしいと求めていることを、ある生徒が放送内の一つの単語の意味を尋ねる具体例で示している。

前の文は **Some classmates** として詳しい説明を求める人たちを広く述べ、次の文は **One student** の具体的な質問に絞っている。後の文が前の文の一例になっているため、「一般的な説明 → 具体例」の関係が成立する。
二文の間に **for example** のような目印はない。それでも、**longer explanations of unfamiliar words and difficult stories** という要望と、なじみのない単語の意味を尋ねる行動を照合すれば具体化と判断できる。単に「二文とも質問している」とするだけでは関係が示せていない。

問 5

模範解答

前には詳しい説明を求める級友の声がある一方、後には短い休み時間に聞くため短い報告を好む別の級友が示され、聞き手の希望の違いを対比している。

標識の前では、詳しい説明を求める要望と、その具体例が述べられる。**However** の後では、時間が限られているため短い報告を好む別の級友が登場する。比べている観点は、**説明の長さについての聞き手の希望**である。
したがってここでの働きは希望の対比であり、「However があるから結論が始まる」という判定はできない。直後も、どちらかを全面的に否定するのではなく、難しい話には説明を足し、簡単な報告は短く保つという対応が続く。

©ミライコーチング

問 6

模範解答

第 1 段落のまとめは話題の順序・メモ・練習・話題間に短い間を置く計画という放送前の準備とその効果だけを扱うが、本文全体の中心はその準備に加え、級友の要望を聞いて説明の長さを調整することまで含む。

第 1 段落末尾は **this preparation** と、前に述べられた準備を受けている。一方、最終文は **both careful preparation and attention to listeners** と、準備と聞き手への配慮の二つを明記している。

比べる文	対象の範囲
第 1 段落の In short の文	第 1 段落で説明した放送前の準備（話題間に短い間を置く計画を含む）とその効果
最終文（全体の中心）	第 1 段落の準備と第 2 段落の聞き手の意見への対応の双方

全体の中心は末尾にすでに書かれているため、新たな要約を創作する必要はない。「局所まとめも全体中心も、放送をわかりやすくすること」とだけ書くと、**範囲の差**が答えに残らない。

ミライポイント！

局所まとめの範囲を決めたら、次の段落が新しく扱う側面を探す。最後に全体を覆う文があっても、局所まとめをそのまま全文の中心と同一視せず、両方の対象範囲を比べて確かめる。

全文の構造分析

名詞の働きをするまとまりは〈 〉、名詞を修飾するまとまりは〔 〕、副詞の働きをするまとまりは( ) で示す。英文のすぐ下のプライム付き注釈（S′・V′ など）は内側の句や節を表し、その下段の S・V・O・C などは外側の骨格を示す。O₁・O₂は、一つの動詞に続く二つの目的語を区別する。

役割色: S 主語 / V 動詞 / O 目的語 / C 補語 / M・その他 修飾等

(At North Hill School) [M], 〈a group of students〉 [S] makes [V] 〈a short radio program 〔for the school community〕〉 [O] (every Friday) [M]. 〈The students〉 [S] want [V] listeners [O] to understand [V′] [C]

the news and stories [O′] (without asking questions [M′] during the program) [M′]. (First) [M], they [S] choose [V] 〈a few topics〉 [O] and put [V] them [O] (in an order 〔that [S′] is [V′] easy to follow [C′]〕) [M]. They [S] write [V] 〈short notes 〔about each topic〕〉 [O]

(so that speakers [S′] can remember [V′] the main facts [O′]) [M] (without reading long pages) [M′]. (Before the program) [M], 〈the speakers〉 [S] practice [V] 〈difficult names〉 [O] aloud [M] and check [V] their voices [O] (with a simple recorder) [M]. They [S] plan [V] 〈a short pause 〔between topics〕〉 [O]

(to show [V′] listeners [O₁′] 〈that a new story [S″] is beginning [V″]〉 [O₂′]) [M], (In short) [M], 〈this preparation〉 [S] helps [V] listeners [O] follow [V′] the program [O′] and understand [V′] each story [O′] more easily [M′].

役割色: S 主語 / V 動詞 / O 目的語 / C 補語 / M・その他 修飾等

〈The students〉 also use 〈ideas 〔from their classmates〕〉 (to improve the radio program)
S M V O V′ O′ M

(after each show). (After each program), they read 〈messages 〔from classmates〕
M M S V O

〔about parts 〔that were easy or hard to understand〕〕. 〈Some classmates〉 ask
S′ V′ C′ S V

the speakers to give 〈longer explanations 〔of unfamiliar words and difficult stories〕〉.
O V′ O′ C

〈One student〉 asks for 〈the meaning 〔of an unfamiliar word 〔in a
S V O

report 〔about the school〕〕〕. (However), 〈other classmates〉 prefer 〈short reports〉
M S V O

(because they often listen (during a quick break)). 〈The students〉 give
S′ M₁′ V′ M₂′ S V M

〈extra explanations 〔for difficult stories〕〉 but keep 〈simple reports〉 short
O V O C

(for busy listeners). 〈A school radio program〉 becomes clearer and more useful
M S V C

(through both careful preparation and attention 〔to listeners〕).
M

一文ずつの対訳

対訳

At North Hill School, a group of students makes a short radio program for the school community every Friday.
ノースヒル校では、生徒たちのグループが毎週金曜日に学校の人たち向けの短いラジオ番組を作っている。

対訳

The students want listeners to understand the news and stories without asking questions during the program.
生徒たちは、聞き手が放送中に質問しなくてもニュースや話を理解できるようにしたいと考えている。

対訳

First, they choose a few topics and put them in an order that is easy to follow.
まず、いくつかの話題を選び、聞き手が追いやすい順序に並べる。

対訳

They write short notes about each topic so that speakers can remember the main facts without reading long pages.
話題ごとに短いメモを書き、話し手が長い原稿を読まなくても主な事実を思い出せるようにする。

対訳

Before the program, the speakers practice difficult names aloud and check their voices with a simple recorder.
放送の前に、話し手は難しい名前を声に出して練習し、簡単な録音機で自分たちの声を確認する。

対訳

They plan a short pause between topics to show listeners that a new story is beginning.
新しい話が始まることを聞き手に知らせるため、話題と話題の間に短い間を置くよう計画する。

©ミライコーチング

対訳

In short, this preparation helps listeners follow the program and understand each story more easily.
要するに、こうした準備によって、聞き手は番組の流れを追い、それぞれの話をより理解しやすくなる。

対訳

The students also use ideas from their classmates to improve the radio program after each show.
生徒たちは毎回の番組の後、番組を改善するために級友たちの意見も取り入れる。

対訳

After each program, they read messages from classmates about parts that were easy or hard to understand.
毎回の番組の後、どの部分がわかりやすかったか、またはわかりにくかったかについて級友から届いたメッセージを読む。

対訳

Some classmates ask the speakers to give longer explanations of unfamiliar words and difficult stories.
一部の級友は、なじみのない単語や難しい話について、もっと長く説明してほしいと話し手に頼む。

対訳

One student asks for the meaning of an unfamiliar word in a report about the school.
ある生徒は、学校についての報告に出てきた、なじみのない単語の意味を尋ねる。

対訳

However, other classmates prefer short reports because they often listen during a quick break.
しかし、別の級友たちは、短い休み時間によく聞くため、短い報告のほうを好む。

©ミライコーチング

対訳

The students give extra explanations for difficult stories but keep simple reports short for busy listeners.
生徒たちは難しい話には補足説明を加える一方で、忙しい聞き手のために簡単な報告は短いままにする。

対訳

A school radio program becomes clearer and more useful through both careful preparation and attention to listeners.
学校のラジオ番組は、丁寧な準備と聞き手への配慮の両方によって、よりわかりやすく役立つものになる。

©ミライコーチング